



# 2026年2月分

## TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH 東京税関羽田税関支署

# 羽田空港貨物取扱量

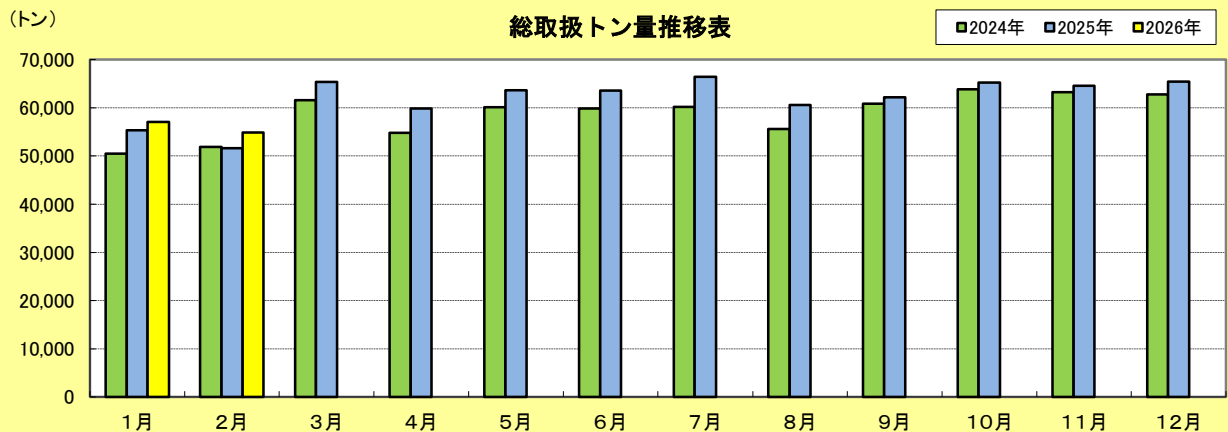
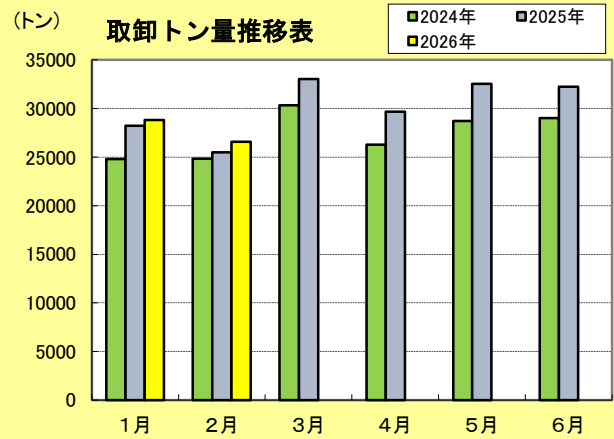
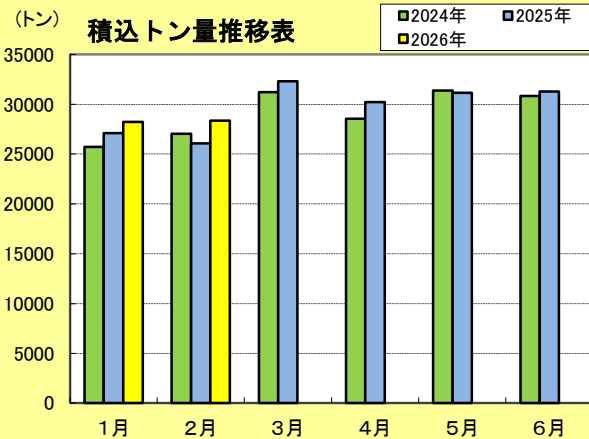
### 総取扱量が12カ月連続でプラス

#### 概要

2026年2月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量	54,900トン	(対前年同月比)	6.5%増
積込量	28,355トン	(同)	8.8%増
取卸量	26,545トン	(同)	4.1%増

となり、対前年同月比で見ると、総取扱量は12カ月連続でプラス、積込量は9カ月連続でプラス、取卸量は39カ月連続でプラスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。  
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。



## 地域別通関動向

### ● 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田通関 2,265トン(対前年同月比 21.6%増、シェア 16.4%)

その他地域通関 11,510トン(同 0.5%減、同 83.6%)

となり、対前年同月比で見ると、羽田通関は18カ月連続でプラス、その他地域通関は2カ月ぶりのマイナスとなった。

### ● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田通関 7,695トン(対前年同月比 2.4%増、シェア 54.2%)

その他地域通関 6,498トン(同 6.9%減、同 45.8%)

となり、対前年同月比で見ると、羽田通関は3カ月連続でプラス、その他地域通関は2カ月連続でマイナスとなった。



## 仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 14,580トン(対前年同月比 15.3%増)

取卸量 12,352トン(同 12.2%増)

となり、対前年同月比で見ると、積込量は4カ月連続でプラス、取卸量は11カ月連続でプラスとなった。



## 生鮮・ドライ取卸貨物動向

2026年2月の羽田空港で輸入された貨物(羽田通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 952トン(対前年同月比 15.4%減、シェア 12.4%)

ドライ貨物 6,743トン(同 5.6%増、同 87.6%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、水産物36.9%(対前年同月比8.6%減)、果物29.0%(同11.9%減)、野菜等14.5%(同38.0%減)、植物(切花等)8.0%(同31.1%減)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2026年2月			2025年2月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	7,695	102.4%	100.0%	7,511	100.7%	100.0%
生鮮	952	84.6%	12.4%	1,125	92.3%	15.0%
ドライ	6,743	105.6%	87.6%	6,386	102.3%	85.0%